



成果指標				
成果指標	運行日数実績／運行日数計画×100			
指標設定の考え方	学校教育をより適正・円滑に実施するため、関係者協議のうえ実情に即し策定された安全・安心な運行計画を遵守する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%	100%	100%	0
実績	100%	100%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	学校統合による通学手段の確保として、必要な事業である。事故等もなく安全な送迎実施ができ、適正な運行業務が遂行された。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	学校統合による通学手段の確保として実施している。児童・生徒の通学手段を単独で確保するのではなく、市民全体を含めた公共交通体系を検討して利便性を高める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題